

第2回 LPの河川定期縦横断測量への適用検討会

日時：平成30年2月27日(火) 15:00～17:00

場所：中央合同庁舎第3号館1階 共用会議室

<議事要旨>

- 測量精度を良くしたいと考えてしまうが、なぜそれが必要なのか見直す必要がある。また、精度を下げることにより、使用可能な機器が増えるため、ニーズ、シーズの両面から検討すべき。
(さらなる三次元データの活用については、来年度以降も引き続き検討する)
- 河川管理に必要となる精度管理について、距離標の他に一定の範囲毎に数箇所のBMを設置すべきではないか。
- 来年度、ALBを試行するのであれば、濁度、透明度を計測し、三次元データとの相関をとることが必要。コストにもよるが、ナローマルチビームで点検することも考えられる。
- 試行は、除草後の条件の良い時期と、除草前の植生が繁茂した状況で行い、植生の影響を検証することも必要ではないか。
- 格子データだけではなく、点群データそのものも成果品として受領してはどうか。
- 試行にあたっての留意事項(測量実施時期、試行内容等)は実施要領・同解説に記述するのではなく、通達等で別途通知してはどうか。
- 堤防天端において、較差が大きくなっている箇所は、何が原因で大きくなっているか確認すること。

以上